

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第160号	
事故等種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成21年12月18日 06時30分ごろ	
発生場所	長崎県長崎漁港（三重地区） 三重式見港三重南防波堤東灯台から真方位 018° 720m付近 （概位 北緯32° 48.48′ 東経129° 46.12′）	
事故等調査の経過	平成21年12月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	鮮魚運搬船 ZHE DAI YU 02316（中華人民共和国）、232トン 不詳、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、国籍 中華人民共和国、外国免状	
死傷者等	なし	
損傷	本船 右舷船首部に破口 防波堤 簡易標識灯を損壊	
事故等の経過	本船は、船長ほか9人が乗り組み、長崎漁港（三重地区）内を、中央ふ頭東側泊地に向け、針路約090°、速力約3ノットで入航中、平成21年12月18日06時30分ごろ、同泊地入口東側の防波堤西端に右舷船首部が衝突した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北北西、風力 3、視界 良好、日出時刻 07時17分	
その他の事項	中央ふ頭東側泊地入口の東側防波堤西端には、簡易標識灯が設置されていた。 事故当時、泊地から出航する他船があった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、長崎漁港（三重地区）に入航中、見張りを適切に行わなかったため、泊地入口東側の防波堤に向く針路で航行したものと考えられる。 船長は、出航船に注意を奪われ、適切な見張りを行わなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、長崎漁港（三重地区）に入航中、適切な見張りを行わなかったため、泊地入口東側の防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。	